



旧岩崎邸洋館

東京清掃労働組合退職者会機関紙

清友

No. 37

2012年9月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541

清友会親睦旅行案内

- 日程 11月6日(火)～8日(木)
(2泊3日)
- 会費 38,000円
(旅行費 37,000円・懇親費 1,000円)
※会費は出発日当日いただきます。
- 宿泊 奥飛騨ガーデンホテル 焼岳
〒506-1432 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷
TEL 0578-89-2811
- 集合 新宿駅西口・安田生命ビル前
午前8時 (※集合次第出発)
- 行程

1日目	新宿西口→松本(昼食)→すっぽんの里(見学)→ホテル(泊)
2日目	ホテル→飛騨高山(自由見学)(昼食)→飛騨古川(散策)→高山ラーメン工場(見学)→ホテル
3日目	ホテル→平湯(買物)→水殿ダム(車窓)→安曇野(昼食)→穂高神社(参拝)→ガラス工房(見学)→新宿西口

- 申込方法 参加確認票(返信用ハガキ)を9月末までに清掃本部宛送ってください。

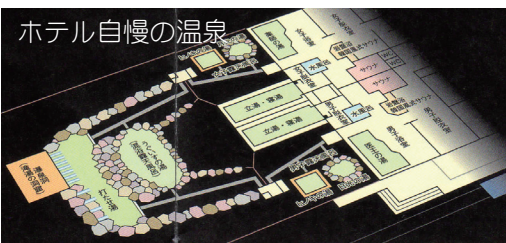
秋の親睦旅行

奥飛騨の秘湯を訪ねる旅

今年の秋の親睦旅行は、「奥飛騨の秘湯を訪ねる旅」です。日程は既にお知らせしたとおり11月6日から8日、2泊3日のバス旅行です。行程は別記のとおりで、飛騨高山と飛騨古川の散策を中心に、すっぽんの里、安曇野、穂高神社などを訪ねます。時季的に紅葉の真っ盛りかと思えます。宿泊先は、エメラルド色の源泉「うぐいすの湯」、奥飛騨の秘湯です。退職者会ならではのゆったりとした

旅を楽しめると思っています。特に今回は、ご夫婦での参加を考慮して二人部屋を用意しました。ご夫婦の参加を歓迎します。また、親睦を目的とした旅行ですので、会員以外の東京清掃退職者にも積極的に声をかけてください。申込み締切りは9月末です。返信用ハガキにより申込んでください。会費は出発日当日いただきます。会員の皆さまの参加を心よりお待ちしております。

皆さまの参加を心よりお待ちしております。



ホテル自慢の温泉



飛騨高山の街並

企画部会 お知らせ

来年のお花見ウォークは埼玉 落語鑑賞会開催を検討

7月23日の初
の企画部会で、
①春のウォーキン
グの反省、②
秋のウォーキン
グ、③落語鑑
賞会の検討を行いました。

(1)お花見ウォーキング
当面、従来通りの手法をベ
ースとするが、歩く距離は5
6kmを基本とする。会員の居
住地域を考慮し、次回は埼玉
方面を候補地とする。

(2)秋のウォーキング、街歩き・
歴史散歩等各種ウォーキング
新たな行事を1つか2つ加
える方向で検討を進める。

(3)落語鑑賞会
実施する方向で検討する。
実施方法は席を20人分程度確
保し、応募の先着順で閉め切
る方向としたい。会場は、浅草、
新宿、池袋、国立劇場を候補
とし、10月5日の秋期学習交
流会のときに相談する。

秋期学習交流会に 参加してください

10月5日に、今年2回目の学習交流会を開きます。東京清掃の現状と今後の課題を把握し、現役世代を支えるために何をすべきかを考えたいと思います。

- 日時 10月5日(金)
午後1時30分開催
- 場所 SKホール
(清掃会館地下1階)
千代田区飯田橋3-9-3
03-3237-9995
- テーマ 東京清掃の現状と課題(仮題)
- 講師 東京清掃吉田委員長・
染書記長

※学習会終了後、概ね3時頃から
交流会をもちます。

都庁退学習交流会

脱原発へ向けた政策と 年金制度の課題を学ぶ

7月8日(9日、市町村共
済保養所「シーサイドいずた
が」で東京都庁職員退職者連
合会第9回学習交流会が開催
されました。柳副会長のレポ
ートを基に報告します。

講演は2つで、最初の講演
「福島第一原発事故と脱原発の
取組み」の講師は、社民党阿
部知子議員政策秘書の森原秀
樹さん。80名近い国会議員が
会員の「原発ゼロの会」(7党
9人が世話人)の事務局長阿
部議員を補佐する原発問題の
エキスパートです。

森原さんは、「大飯原発は再
稼働されてしまったが、原発
なしで電気は足りる。30年に
原発を何%にするか国民的議
論が行われている。原発依存
をゼロにするとともに、使用
済み核燃料の再処理もゼロに
するべき。そのためには、省
エネ政策の推進と再生可能エ
ネルギーへの転換を図る必要

があり、原発推
進というこれま
での国策を改め
るため、原発立
地自治体再生の
道を示すことが

大事。小規模分散型へのエネ
ルギーシステムの転換を含め
た新しい経済社会構造を促す
政策を講じることが必要。政
策の決定と実施へ向け国民に
開かれた議論の仕組みが求め
られる。」と強調しました。

「原発ゼロの会」は、原発危
険度ランキングを発表し、危
険な原発の再稼働を認めない
議論を喚起していますが、活
断層上に建設された原発や老
朽化、安全施設の不備等危険
な原発が多数存在しているこ
とに改めて恐怖を感じました。

もう一つの講演「退職者連
合の取組み」は、講師が7月
に行った清掃退職会学習会と
同じ木村さんでした。講演内
容も重なる部分がありますの
で、省略します。

今回、退職者会上部団体の
学習会に初めて参加しました
が、大変勉強になりました。
今後も積極的に参加します。

地公退**高齢者医療制度改革の実現と
年金の一方的削減に反対する
決議を小宮山厚労大臣に送付**

地方公務員退職者協議会（地公退）は、7月27日に開催した第43回定期総会で、「高齢者医療制度改革を実現し、年金の一方的削減に反対する決議」を満場一致採択し、同日、小宮山厚生労働大臣宛送付しました。

「決議」は、別記のように、①後期高齢者医療制度廃止の早期実現、②年金の物価スライド特例措置解消の撤回を求め、民主党政権へマニフェストに掲げた政策を信義に則して実現するよう求めたものです。

**（地公退）高齢者医療制度改革を実現し、
年金の一方的削減に反対する決議（要旨）****○後期高齢者医療制度廃止、新制度実現！**

私達は「後期高齢者医療制度」の廃止と新制度創設を要求してきた。この要求を共有するマニフェストを掲げた民主党政権は改革案をまとめながら、関係者の合意形成に至らないことを理由に法案を提出せず、社会保障・税一体改革法の三党合意により新設した「社会保障制度改革国民会議」に検討が委ねられた。75歳以上だけの被保険者集団は保険原理に反する。国保の財政運営単位を都道府県にし、現役の支援金拠出は応能負担にすべきである。私達は高齢者医療制度改革へ向け、改革案の速やかな法改正を求める。

○一方的年金減額反対！

物価スライド特例措置解消による年金減額は承服できない。本来水準と実支給額の乖離解消自体は理解するが、特例措置が国会の全会派一致で維持されてきた経過を踏まえれば、物価上昇時に相殺する方法により解消すべきである。マニフェストに明記した高齢者税制の復元を実現することなく、経緯を無視した年金減額を唐突に強行するのは信義に反する。私達は、デフレ脱却・低賃金労働者解消・少子対策の政策を展開することにより年金制度を安定させ、適切な所得代替率を維持することを求める。

社会保障・税一体改革法案は、後期高齢者医療制度の廃止や高齢者税制の見直しを見送る一方、消費税引上げと年金の特例水準の見直しによる25%引下げなど、私たちの期待に反するものですが、生活に影響する重要な法案です。法案の国会審議は注視する必要があります。8月22日現在の審議状況は次のとおりです。

〈1〉物価スライド

特例措置解消（年金額の2.5%削減）

三党合意により、7月31日に衆議院に提案されたが、同法案から分離された②の法案との関係で実質審議に入っており、このままなら、政府が目論んだ「今年12月からの0.9%減額」は実現しない。

〈2〉基礎年金2分の1国庫負担のための交付国債発行

三党合意により国債の性格を変更して別の法律に移す修正案

が7月31日に衆議院に提案されたが、実質審議に入っていない。

〈3〉マイナンバー法**社会保障・税一体改革法案
国会での審議状況**

実質審議に入っていない。

〈4〉消費税を社会保障の安定財源とするための法律案

8月10日に参議院で可決して成立。ただし、低所得対策等は年末の税制調査会に先送り。

〈5〉年金制度の財政基盤と最低保障機能強化等のための法律案（①年金受給資格期間短縮、②短時間労働者の社会保険加入拡大、③低年金者への年金加算、④高所得者の基礎年金減額等）

三党合意で変更・別扱いとなった部分（②は原案より縮小、③は年金加算をやめて支援給付金に変更、④は高所得者年金減額は原案から削除し検討事項に）を除き8月10日に参議院で可決して成立。

〈6〉被用者年金制度の一元化（厚生年金と共済年金の制度一元化）

8月10日に原案通り参議院で可決して成立。

〈7〉年金生活者支援給付金

三党合意により、低所得者に対する年金額加算を削除し、代わりに税による給付金を新設する法律案が7月31日に衆議院に提出されたが、実質審議に入っていない。

脱原発社会を目指す8・12労働者集会

**福島原発事故を防止できなかった
今までの運動を反省し、職場と地域から
脱原発社会の実現を目指すことを宣言**

8月12日、全港湾、国労、全日建運輸連帯、全国一般全国協、東京清掃、東水労、都労連が呼びかけた「脱原発社会をめざす8・12労働者集会」がヘティアアラこうとうで開かれ、お盆にも関わらず1300名が参加しました。



原発ソング「若狭の海」などの歌からスタート、「福島原発事故を防止できなかった今までの運動を反省し、職場と地域から脱原発社会の実現を目指す」とする基調報告を確認した後、京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんが「放射能汚染の現実を超えて」と題して講演。小出さんは、①子どもを被爆させないこと、②第一次産業を守ることを国民の責任として挙げた上で、未だ原発推進姿勢を変えない東電労組と、水俣病と闘わなかったことに「恥」宣言したチッソ労組との違いを対比しつつ、脱原発へ向けて労組が中心を担うよう訴えました。

集会は、労働組合が脱原発に取り組むことの重要性を改めて再確認でき、意義がありました。退職者会も東京清掃の呼びかけに応じて、幹事を中心に7名が参加しました。

人事院勧告

人事院は、8月8日、国家公務員の給与について、国会と内閣に勧告しました。

勧告内容は概要次のとおり。

- ①月例給は、特例措置による給与減額前の民間較差が△0.07%と小さく、減額後は民間給与を7・67%下回っていることを踏まえ、改定なし。
- ②ボーナスも民間と均衡しているとして改定なし。
- ③50歳台後半層の給与水準上昇を抑制するため、昇給・昇格制度の見直し。

今年の確定闘争は、退職金減額と高齢期雇用・賃金水準が焦点になりそうです。

山崎精一さん 「アメリカの労働 社会を読む事典」 を翻訳・出版

退職者会会員の山崎精一さんが、R・エメット・マーレー著「アメリカの労働社会を読む事典」を小畑精武さんと二人で翻訳、明石書店から出版されました。「アメリカの労働運動、労働社会、労働者文化を知るために欠かせない」内容であり、読み物としても一級だと、連合、全労協、全労連からも推薦されています。

「定価 3,990 円（税込）送料別」のところを「割引価格 3,200 円（+送料 300 円）」で譲り受けられるとのこと。興味のある方は山崎さん本人宛か退職者会事務局宛に連絡ください。

敬老週間のお得な行事

東京都は、敬老の日（9月17日）と敬老週間（9月15日～21日）に東京都立の博物館・美術館・都立公園の無料公開や、東京都交響楽団主催の演奏会の入場割引などを実施しています。

- (1) 都立博物館・現代美術館・たてもの園 9月17日 65歳以上無料公開、都美術館 9月15日～21日の公募展 65歳以上無料公開
- (2) 都立動物園・植物園・野鳥公園・9庭園（小石川後楽園等） 敬老週間は60歳以上、介護が必要な方は付添1名無料公開
- (3) 東京都交響楽団主催の演奏会（3割引き）

詳細は東京都広報9月号参照